

第 76 回四国地区総合体育大会プログラム

【ヨット】

期 日 令和8年7月4日（土）、5日（日）

場 所 高松市ヨット競技場

主 催 四国地区大学体育連盟

主 管 高知大学

種目担当 香川大学

1,役員名簿

役職名	大学名	職名	氏名
会 長	高 知 大 学	学 長	受 田 浩 之
副 会 長	徳 島 大 学	〃	河 村 保 彦
〃	鳴門教育大学	〃	佐 古 秀 一
〃	徳島文理大学	〃	梶 山 博 司
〃	香 川 大 学	〃	上 田 夏 生
〃	高 松 大 学	〃	佃 昌 道
〃	愛 媛 大 学	〃	仁 科 弘 重
〃	松 山 大 学	〃	池 上 真 人
運 営 委 員 長	高 知 大 学	理 事（教育担当）	津 江 保 彦
運 営 副 委 員 長	〃	学務部長 学生支援課長 兼務	有 澤 英 之
運 営 委 員	体 育 連 盟 当 番 県 理 事		
競 技 委 員	高知大学	副学長（教育担当）	福 間 慶 明
競技副委員長	競 技 委 員 長 に 一 任		
競 技 委 員	各 競 技 種 目 実 施 監 督 者		

2. 運営者名簿

氏名	役職
豊田 豊明	プロテスト
黒木 信治	プロテスト
清野 哲司	プロテスト
岡田 光信	レース委員長
山田 佳明	プロテスト委員長
正岡 理	陸上本部
三好 誠	陸上本部
細川 創太	1 マーク
伊藤 大弥	1 マーク
上原 佳穂子	1 マーク
流 千里	2 マーク
松原 祐樹	2 マーク
森下 直樹	フィニッシュ
皆見 敏郎	本部船
高杉 しおり	本部船

2026年 四国470級・スナイプ級選手権大会

兼 四国地区大学総合体育大会

NOTICE OF RACE (レース公示)

期 日 2026年7月3日(金)～7月5日(日)

場 所 高松市ヨット競技場 香川県高松市浜ノ町67-1

共同主催 香川県ヨット連盟、四国学生ヨット連盟、四国470協会、四国スナイプ協会

運営主体 ゆうなぎ会、香川大学ヨット部

競技種目 470級、スナイプ級

1 適用規則

1.1 本大会はセーリング競技規則2025-2028に定義された規則を適用する。また、開催各クラス規則が適用される。

1.2 本大会の全ての規則を決定するのは次の通りとする。

1.2.1 [SP]は、レース委員会が審問無しに標準ペナルティーを適用することができる規則を意味する。レース委員会は抗議することもでき、その場合は審問を経てプロテスト委員会の裁量でペナルティーが決定される。これは付則A5を変更している。

1.2.2 [NP]は、この規則の違反は艇による抗議の根拠とはならないことを意味する。これは規則60.1を変更している。1.3 四国地区大学総合体育大会に参加する艇においては、全日本学生ヨット連盟規約、470級学連申し合わせ事項、スナイプ級学連申し合わせ事項、艇体への大学名表示に関する学連申し合わせ事項を適用する。

1.4 SCIRA規則の『国内及び国際選手権大会の運営規則』は同規定9.1に定められたレースを行う最大風速に関する規定を除き適用されない。これは艇による救済要求の根拠とはならない。これは規則61.1を変更している。

1.5 規則42違反に対し、付則Pを適用する。

1.6 [DP]水上にいる間は常時規則40.1が適用される。

1.7 レース公示と帆走指示書に矛盾が生じた場合は帆走指示書を優先する。これは規則63.5(c)を変更している。

2 コミュニケーション

2.1 競技者への通告には以下の手段を用いる。

- (1) 公式掲示板は、オンライン掲示板 RacingRulesOfSailing.org を使用し、帆走指示書の変更などの各種通告や大会文書の入手、抗議締切時刻、審問予定、

判決結果など審問に関わる通告に使用する。

[Racing Rules of Sailing](#)



(2) LINE オープンチャットは、会場アナウンスの用途などに使用する。

(3) LINEオープンチャットのURLは帆走指示書に記載される

2.2 [DP][NP] レース中、緊急の場合を除き、艇は音声やデータを送信してはならず、かつ、すべて の艇が利用できない音声やデータ通信を受信してはならない。この制限は携帯電話にも 適用する。

3 参加資格

3.1 参加選手は以下の項目をみたしていること。

(a) 参加選手は、2026年度(公財)日本セーリング連盟会員であること。

(b) 470 級の競技者は日本470協会の2026年度会員または団体会員登録済みの学ヨット部 に所属していること。

(c) スナイプ級の競技者は、2026年SCIRA会員であること。

(d)四国地区大学総合体育大会に参加する艇においては、全日本学生ヨット連盟第6条をみた していること。

(e) スポーツ安全保険、または補償内容が同等以上の保険に加入していること。

3.2 使用艇は、以下の項目を満たしていること。

(a) 470 クラスは有効な計測証明書を所有していること。

(b) 国際スナイプ級の艇は、2026 年度 SCIRA 登録を完了し、デコールを貼付していること。

3.3 使用セールは以下の項目を満たしていなければならない。

(a) 470 級は日本470協会に登録された艇以外のセール番号を使用してはならない。

(b) スナイプ級は2026年度SCIRA登録された艇以外のセール番号を使用してはな

らない。

(c) [DP] [NP] 各クラスとも同一のセール番号を複数の艇で同時に使用してはならない。

(d) [NP] 470 級は、レース委員会が承認した場合を除き、メインセールとスピナーカーのセール番号は一致しなければならない。

(e) 各クラスともセールは各クラス協会規則に準じた基本計測を完了していなければならない。

4 参加申し込みおよび参加料

4.1 参加申し込み書類はオンライン掲示板 RacingRulesOfSailing.orgにて入手できる。

4.2 参加申し込みは、所定の参加申し込み用紙記入のうえ、2026年6月14日(金)までに下記申し込み先までに提出すること。

4.3 【参加申し込み先】 流 千里 fishdojyou3290@gmail.com

4.4 必要な参加料は次の通りとする。

参加料：10,000円/艇 支援艇登録料：1,000円/1艇

※大会当日、大会受付にて支払うこと。

※競技艇及び支援者艇の施設使用料は、ハーバーが定める使用料を各校・各自の責任でハーバー窓口にて手続きを行い支払うこと。

5 日程

5.1 レース日程

7月3日(金)

10:00～16:00 レース艇受入

15:00～16:00 大会受付

7月4日(土)

8:30 開会式・選手ブリーフィング

9:55 初日の最初のクラスの第1レース予告信号

引き続きレースを行う

7月5日(日)

8:00 選手ブリーフィング

9:25 当日の最初のレース予告信号

引き続きレースを行う

16:00 閉会式（予定）

※7月 5日(日)の 14:00 を越えて予告信号を発しない。

※引き続き行われるレースの予告信号は任意の時間に発せられる。

5.2 レース数 本大会の最大レース数は7レースとする（一日のレース数はレース委員会の裁量により判断される）。

6 計測 [NP] [DP]

6.1 艇は大会期間中いつでも有効な計測証明書を提示できるようにしていなければならない。

6.2 艇は大会期間中いつでも検査される。

7 当日提示書類

7.1 参加者は大会受付で以下の書類を提示し、登録を完了しなければならない。

7.2 提示する書類

(a)470 級はオーナー名義の有効なMeasurement Form

(b)スナイプ級はレース艇の計測証明書及び競技者の日本スナイプ協会（SCIRA）会員証

8 帆走指示書

帆走指示書は公式掲示板にて入手できる。

9 レース・エリア

【添付図 A】にレース・エリアを示す。

10 コース

【添付図 B】

の見取り図は、レグ間のおおよその角度、マークを通過する順序、それぞれのマークをどちら側に 見て通過するかを含むコースを示す。

11 得点

11.1 本大会の成立は、1 レースを完了することを必要とする。

11.2 艇のシリーズの得点はレースの成立が4レース以下の場合、全レースの得点の合計とする。これは付則A2.1を変更している。

12 支援者艇 [NP] [DP]

12.1 支援者艇は、受付時に登録しなければならない。

12.2 支援者艇は水面から高さ1m以上の位置にピンク色旗をつけなければならない。旗は各自準備すること。

12.3 支援者艇は、レース委員会から救助および曳航の要請があった場合、これに応じなければならない。

13 無線通信 [DP]

13.1 競技者は無線の送受信が可能なあらゆる無線機をレース艇に持ち込んで서는ならない。

13.2 支援者艇はレース委員会、プロテスト委員会の無線の傍受および送受信を行ってはならない。

14 全日本選手権出場権

14.1 本年の全日本470級選手権大会、全日本スナイプ級選手権大会および全日本学生ヨット個人選手権大会の四国予選を兼ね実施する。

14.2 上位チームのヘルムスマンが、本年度の出場権を得る。

14.3 上位ヘルムスマンが出場を辞退した場合は、順次下位に繰り下がるものとする。

15 リスク・ステートメント

規則3には『レースに参加するか、またはレースを続けるかについての艇の決定の責任は、その艇にのみある。』とある。大会に参加することによって、それぞれの競技者は、セーリングには内在するリスクがあり、潜在的な危険を伴う行動であることに合意し、認めることになる。これらのリスクには、強風、荒れた海、天候の突然の変化、機器の故障、艇の操船の誤り、他艇の未熟な操船術、バランスの悪い不安定な足場、疲労による傷害のリスクの増大などがある。セーリング・スポーツに固有なのは、溺死、心的外傷、低体温症、その他の原因による一生消えない重篤な傷害、死亡のリスクである。

16 賞

賞は次のように与えられる。

【四国470級選手権大会】1~3位

【四国スナイプ級選手権大会】1~3位

【四国地区大学総合体育大会】470級、スナイプ級1~3位

17 【本大会に関する問い合わせ先】

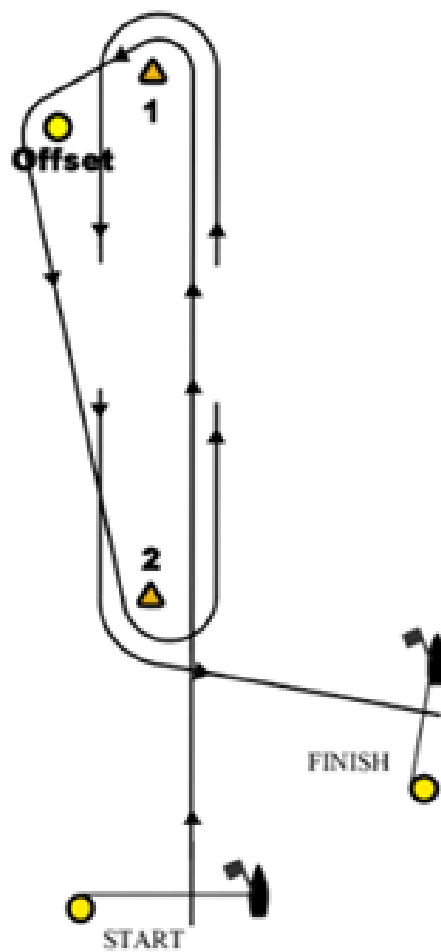
香川大学ヨット部 田中 達也 s24t635@kagawa-u.ac.jp

【添付図A】



【添付図B】

【添付図 B】



緊急時の連絡先

一般向け相談「#7119」087-812-1055(無料)

すぐに医療機関を受診するべきか、様子を見ても大丈夫なのか看護などが助言を行います。（診断、治療はできません）

症状が重く、すぐに救急車が必要な場合は、119番通報をしてください。